

第16回かながわ子ども・子育て支援大賞等受賞内容一覧

＜かながわ子ども・子育て支援大賞 1件＞

団体名等 (所在市町村・活動地域)	活動の概要
一般社団法人みんなのレモネードの会 (横浜市・横浜市を中心に首都圏を中心とした全国)	小児がん患児家族の立場から「小児がんのことをもっと知ってほしい」、「患児や患児家族でつながりたい」との思いで、小児がん啓発活動、小児がん患児やその家族の交流会などを開催。また、治療を受けた病院に、子どもたち自らが交渉してクリスマスプレゼントを届ける「みんなレモサンタ」という活動を展開し、これまでに50カ所以上の施設にプレゼントを届けている。

＜かながわ子ども・子育て支援奨励賞 3件（事業者部門 該当なし、個人・団体部門 3件）＞

団体名等 (所在市町村・活動地域)	活動の概要
こども食堂プロジェクト@やまと (大和市・大和市(要請があれば横浜市、綾瀬市等近隣市も含む))	生活に困難や課題を抱えた親子を対象に「たまめし食堂(こども食堂)」（コロナ禍においては宅食）を実施するほか、「たまふろ(まちの公衆浴場にスタッフと一緒にいく活動)」や、「たま塾(塾に行くことのできない中学生を対象とした学習支援)」等、子ども達の生活習慣や暮らしの課題に向き合った活動を展開。
個人・団体部門 NPO 法人湘南まぜこぜ計画 (藤沢市・藤沢市)	経済的な困窮に限らず子どもの孤食、保護者の病気、コロナ禍の外出制限等で困った子育て世帯を対象に、提携する飲食店で、1個100円で子ども弁当(店内で食べられるお店もある)を提供する「未来食堂」事業を展開。併せて、学習支援や子どもの居場所活動を実施。
NPO 法人湘南市民メディアネットワーク (藤沢市・県内全域)	不登校・ひきこもり等も含めたさまざまな状況や個性の青少年(小学生以上)に対して映像制作の授業やワークショップを行うことで、青少年が自ら社会・世界への新たな視点を発見し、他者と関わり合い、新たな表現の術を得て、コミュニケーションを活性化していく機会を提供する。また作品を発表し合い、それぞれの視点の持ち方・多様性を学び認め合いながら、自己肯定感を高めていくための場づくりを行う。

<かながわ子ども・子育て支援草の根賞 4件>

団体名等 (所在市町村・活動地域)	活動の概要
NPO 法人子どもネットミュージアム (横浜市・県内全域)	「ぼくたち、わたしたちの未来の世界」をテーマとした神奈川県小学生を対象にした絵画コンクール「かながわ夢絵コンテスト」を実施。多くの事業者がコンテストを支援する「企業サポーター賞」の制度や、コンテストの運営の一部を障がい者雇用に結びつけるなど、様々な工夫をしながら、長年に渡ってコンテストを運営している。
子どものワークショップ (横浜市・横浜市)	横浜市青葉区の「寺家ふるさと村」において、親子で自然体験を行う「ソダチの森のあそびの日」を実施するほか、放棄農地でビオトープの保全を行い、「たんぼぼうお手伝い体験の日」を通じ、子どもサポーターの育成を行っている。この場所で見つけた生き物を貸し出し生き物の世話を体験する「たんぼぼう生き物図書館」なども実施。
NPO 法人よこはま言友会 (横須賀市・県内全域)	吃音（きつおん）をもつ子どもたちと保護者を対象として、吃音情報の提供と意見交換を行う「親子きつおん交流会」を開催。同じ悩みをもつ保護者間で懇談することで悩みや心配事を分かち合うとともに、吃音をもつ子ども同士が交流する機会を提供している。
青空おやつ (厚木市・厚木市)	公園で子どもたちがお絵描きをするとおやつがもらえる。描いた絵は持ち帰るか団体に預け、預かった絵は団体の活動趣旨に賛同する人の手に渡り、その代わりにおやつなどの物資の提供を受ける。楽しくお絵描きしたことが、誰かの役にたつ「やさしさをふやすしくみ」が広がることを目指して運営している。

<かながわ子ども・子育て支援特別賞 1件>

団体名等 (所在市町村・活動地域)	活動の概要
NPO 法人H&K (横浜市・県内全域)	「子育て支援活動団体」、「小松菜に代表される神奈川県産野菜の地産地消及び食育を推進する団体」2つの団体が一緒になり、子育て環境のコーディネートに関する事業、女性・家族支援に関する事業、地産地消・食育推進に関する事業、地域支援・交流に関する事業等、他団体との連携を図りながら幅広く展開している。世代を超えたつながりで親子の生きる力をサポートし「誰もが支援する側になれる人づくり」「支援の連鎖」を意識した活動を目指している。